

2025年6月29日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第68巻第11号(通算3448号)
教会設立 1959年6月14日

しゅうほう
週報

教会標語

小さくされている人を
大切に**する**教会



〒581-0072 主任担任教師・牛田 匡 牧師
大阪府八尾市久宝寺 6丁目7-10 隠退教師・小林 達夫 牧師
TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト) <http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」
kyuho-church@koinonia.or.jp
【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に**する**神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

せいれいこうりんせつ だい しゅじつれいはい
聖霊降臨節 第4主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

前奏(黙祷) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 詩編 67編 7-8節

賛美歌 21-511番「光と闇とが」(©教団讚美歌委員会)

聖書 ヨハネの手紙I 1章 5-10節

お祈り

賛美歌 21-509番「光の子になるため」(©JASRAC)

メッセージ「神は光、光の中を歩む」 牛田 匡 牧師

賛美歌 21-502番「光のある間に」(©教団讚美歌委員会)

主の祈り 21-62番「天にいますわたしたちの父」(©讚美歌改訂委員会)

誕生者祝福式 牛田 匡 牧師

献げ物(*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

祝福 牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*受付に献金箱がございます。

「献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 67編 7-8節 (聖書協会共同訳)

⁷地は実りをもたらしました。

神、我らの神が私たちを祝福してくださいます。

⁸神が私たちを祝福してくださいます。

地の果てに至るまですべての者が

神を畏れ敬おそ うやまいますように。

聖書 ヨハネの手紙 I 1章 5-10節 (聖書協会共同訳)

⁵ 私たちがイエスから聞いて、あなたがたに伝える知らせとは、神は光であり、神には闇やみが全くないということです。⁶ 神と交わりを持っていると言いながら、闇の中を歩むなら、私たちは偽いつわりを述べているのであり、真理を行ってはいません。^{7a} しかし、神が光の中におられるように、私たちが光の中を歩むなら、互いに交わりを持ち、御子イエスの血によってあらゆる罪から清められます。⁸ 自分に罪がないと言うなら、自らを欺あざむいており、真理は私たちの内にありません。⁹ 私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、あらゆる不正から清めてくださいます。¹⁰ 罪を犯したことがないと言うなら、それは神を偽り者とすることであり、神の言葉は私たちの内にありません。

(脚注 a: 「しかし」は異本による補足)



「低みからの見直し」より

牛田匡牧師

聖書 使徒言行録 17章 22-34節

今回のお話は、伝道者パウロのアテネでの失敗のお話でした。ファリサイ派の律法学者としての教育を受けていたパウロは、弁論術の訓練も受けていて、知恵と力に満ちた論理的な説教を、ギリシアのアテネの町で行いました。しかし、彼の予想に反して、アテネの人々の反応は冷やかかで、パウロの話を受け入れた人々はごく少数でした。その原因はパウロ自身の「上から目線」にあったのだらうと思われまます。ギリシアは多神教の文化を持っていましたから、アテネの町も様々な神々の像がありました。「ヘブライ語聖書」では律法で繰り返し「偶像崇拜の禁止」が説かれていますから、パウロにとっては許せなかったのでしょうか。しかし、改めて聖書を読んでみますと、聖書が禁じている「偶像崇拜」とは、言い換えれば「貪欲」「自己中心・利己主義」のことであり（コロサイ 3:5、エフェソ 5:5）、自分の都合のために、自分で神の像を作り、その権威を利用して、他者を抑圧したり搾取したりするという、自分自身を神とするような思いとふるまいのことです。ですから、今回のアテネでのパウロのお話は、異教の神々の像を作って拝んでいるアテネの人々を見下して語っていたパウロの方こそ、偶像崇拜をしていたというように理解することができます。

パウロはその後、コリントへと移動しますが、そこではアテネでの失敗を深く反省し、「そちら（コリント）に行ったとき、私は衰弱していて、恐れに捕らわれ、ひどく不安でした」（1コリント 2：3節）と記しています。そして、コリントでは人々に語るにあたって「優れた言葉や知恵を用い」ず（1節）、「私の言葉も私の宣教も、雄弁な知恵の言葉によ」らず（4節）に語ったと言われています。裏を返せば、アテネでは「自分の知恵や力などを駆使していた」ということであり、今の言葉で言えば、聴衆たちを「論破した」という所でしょうか。しかし、そのような「上から目線」の言葉や振る舞いは、人々の反発を買いこすすれ、人々の心に響き、人々を動かすことはありませんでした。そしてパウロは、そのようなアテネでの手痛い失敗を経て、低みから見直すようになりました。現代を活かされている私たちも、自分自身の小ささや、失敗を認めることはなかなか難しいことかもしれません。ですが、だからと言って神様から見放されるということはありません。むしろ「低みから見直す」時にこそ、神様が共にいてくださることが感じられるのではないのでしょうか。私たちは今日もそれぞれの場であって、神様によって、神様と共にあって、用いられていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025年6月22日

礼拝出席 大人5人 子ども2人 献金 大人3,200円 中継視聴者数17回 感謝
礼拝後に、釜ヶ崎支援のためにおにぎりを188個作り、いこい食堂にお届けして、
食堂前の四角公園にて94人の方々に、2個ずつお渡しすることができました。ど
うもありがとうございます。お米の価格の高騰や、品薄の状態が続いています。
いこい食堂を始め、釜ヶ崎で支援活動を行っている諸団体でもお米の献品を募集
されています。お米に限らず、献品や献金をいつでも受け付けています。

・入院中の さんは、先週23日(月)に手術が無事に終了して、リハビリ
中とのこと。引き続きお祈りください。

◎次週 2025年7月6日(日) 聖霊降臨節第5主日礼拝

招きの詞 申命記 26章 7-9節

聖書 ヨハネの手紙I 3章 11-18節

メッセージ 「口先ではなく態度で示す」牛田匡牧師

賛美歌 こ改120番(©出版局)、21-505番(©JASRAC)、21-419番(©P.D.)

礼拝後に、7月期の「教会を考える会」を行う予定です。

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・7月4日(金)11時~12時30分にかけて、関西学院大学(兵庫県西宮市)の吉岡記念館にて、キリスト教と文化研究センター主催の連続公開研究会「キリスト教主義教育の可能性と実践」の第1回が開催されます。発題は「キリスト教社会福祉施設における取り組み~社会福祉法人日本コイノニア福祉会の事例から~」として、牛田牧師が担当します。一般公開・参加無料ですので、どなたでもご参加ください。
- ・7月10日(木)9時半~11時半にかけて、釜ヶ崎・いこいの家にて、「聖書を読む会」を開催します。テキストは「聖書の話あれこれ」でコピーを配布します。参加費は無料ですが、会場費としてカンパがあります。どなたでもご参加ください。
- ・次週7月6日(日)17時~19時にかけて、八尾教会にて、「教会と天皇制」を考える特別委員会主催の連続座談会の第1回目が開催されます。発題は「もやもや! 天皇制」として、片岡希望さんによる発題です。参加無料です。どなたでもご参加ください。
- ・明日6月30日(月)、部落解放センター主催「部落解放祈りの日礼拝」が開催されZOOM配信されます。IDとパスコードを直接入力してご参加ください。第1部:14時~15時半
ZOOM ID:870 1553 0054 パスコード 979910
第2部:18時半~20時
ZOOM ID:843 3510 8213 パスコード 551325

◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
7/6	牛田匡牧師	ユークリスタ・教会を考える会
7/13	牛田匡牧師	部落解放祈りの日・おにぎり支援
7/20	牛田匡牧師	
7/27	牛田匡牧師	誕生者祝福式

「教会と天皇制」を考える特別委員会主催
連続座談会第一回
「もやもや! 天皇制」
発題者: 片岡希望

参加
無料

昨年度、「教会と天皇制」を考える連続講座を開催しました。参加者からもいろいろな思いが語られたこともあり、今年度は座談会として開催することとなりました。
第1回目は、部落解放センターのさまざまな活動に関わってこられた片岡希望さんを発題者にお招きして、部落差別の問題に出会うなかで、キリスト者として感じ、考えられてきたことをお聞きします。片岡さんの発題を出発点にして、天皇制から解放されるために多くの方と言葉や思いを交わりたいと願っています。ぜひご参加ください!

2025 7.6 SUN

時間 17:00~19:00
会場 日本キリスト教団八尾教会
〒581-0074 大阪府八尾市栄町1-5-8

Zoomでも座談会の模様を配信いたします。オンラインにて参加を希望される方は、当委員会までメールにてお申し込みください。
アドレス: uccj.osaka.2.11@gmail.com